

2023年9月21日

報道関係者各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

## 慶應義塾大学 環境情報学部 藤井進也 准教授の音楽グローヴ研究が 2023年度 国立研究開発法人科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業 (さきがけ) に採択

### 多感覚グローヴ感創発と音楽芸術表現への応用に関する研究を推進

国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) の 2023 年度 戦略的創造研究推進事業 (さきがけ) に、藤井進也准教授の研究開発課題「多感覚グローヴ感創発と音楽芸術表現への応用」が採択されました。

戦略目標：「ヒトのマルチセンシングネットワークの統合的理解と制御機構の解明」

研究領域：「生体多感覚システム」

採択者氏名：藤井 進也

所属機関：慶應義塾大学 環境情報学部

役職：准教授

研究課題名：「多感覚グローヴ感創発と音楽芸術表現への応用」

研究期間：2023年10月～2027年3月

JST の戦略的創造研究推進事業 (さきがけ) は、科学技術イノベーションの源泉となる創造的な革新的技術のシーズを世界に先駆けて創出することを目的としており、若手研究者の挑戦的で先駆的な研究を推進する事業です。藤井進也准教授が採択された研究領域「生体多感覚システム」では、生命活動における生体多感覚システムの機能解明とその機能や作動原理を応用した技術開発の推進を目標としています。2023 年度には、藤井准教授の研究課題「多感覚グローヴ感創発と音楽芸術表現への応用」が新規課題として採択されました。

#### 研究開発課題の概要

ヒトは音楽を聴くと、手拍子したり、ステップしたり、ダンスしたり、喜びを感じて自然と身体を動かすことがあります。このように音楽を聴いて、快情動や運動意欲が生じる感覚は、「グローヴ感」と呼ばれます。本研究開発課題では、グローヴ感を多感覚現象として捉え、グローヴ感のあるリズム演奏の特徴を科学的に解明し、グローヴリズム演奏を生成するシステムの開発・検証に取り組みます。また、研究成果を応用し、新たな音楽芸術表現の創作を行います。

2023 年度 戦略的創造研究推進事業 (さきがけ) 新規採択課題一覧：

<https://www.jst.go.jp/kisoken/presto/application/2023/230919/230919.html>

戦略的創造研究推進事業における 2023 年度新規研究課題の決定について：

<https://www.jst.go.jp/pr/info/info1638/index.html>

藤井 進也 (慶應義塾研究者情報データベース)：[https://www.kris.keio.ac.jp/html/100012635\\_ja.html](https://www.kris.keio.ac.jp/html/100012635_ja.html)

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス音楽神経科学研究室：<https://neuromusic.sfc.keio.ac.jp/>

※本プレスリリースは、新聞各社社会部等に配信しております。

#### 【配信元】

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当

E-mail：[kri-pr@sfc.keio.ac.jp](mailto:kri-pr@sfc.keio.ac.jp)